

外傷性 血液凝固障害への アプローチ

血液粘弾性検査はこう活用すべきだ!

外傷性血液凝固障害は、重症外傷の治療において介入すべき重要ポイントの一つです。Damage control resuscitation (DCR) の適切な実施が各種ガイドラインにおいて推奨されており、point of care凝固障害の検査を実施して正しい凝固の状態を把握することが適正なDCRの実践につながります。血液粘弾性検査はこのpoint of care凝固障害の検査法の一つとして各種ガイドラインで使用の推奨が高い検査でありながら、まだ我が国ではその使用が十分普及していません。本セミナーでは、血液粘弾性検査を重症外傷診療の実臨床でどのように活用し、どのように読むのかについて第一線で活用するスペシャリストにご講演いただきます。外傷性血液凝固障害を制するための血液粘弾性検査について学習したい方のご参加をお待ちしています。



TEG[®]6s

販売名: TEG6s トロンボエラストグラフィアナライザー
届出番号: 13B1X00099000002

日時

2025年5月15日 木 12:10 ▶ 13:10

会場

第1会場 (ホール A) 学会場にて現地開催

座長

渡部 広明 先生

島根大学医学部附属病院

演者 1

福山 唯太 先生

日本医科大学千葉北総病院

演者 2

永嶋 太 先生

公立豊岡病院但馬救命救急センター

共催: 第39回日本外傷学会総会・学術集会 / ヘモネティクスジャパン合同会社